

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	南九州市立九玉小学校	児童生徒数	56人
-----	------------	-------	-----

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

第2学年の振り返り(短冊に記述)



今日の学習で「分かったこと」や「できるようになったこと」(2分・50字)



○「分かったこと」や「できるようになったこと」の観点で振り返っています。
○書く力を育成するために、文字数や時間、文の数に制限を設けています。しかし、低学年において表現を多様にするために、制限を厳しく整えさせることまでは求めていません。

第5・6学年の振り返り(ロイロノートに記述)



○「分かったこと」や「できるようになったこと」の観点だけでなく、学習内容の理解を振り返らせることもあります。写真は、計算方法を文章化しています。タイピングの入力を系統立てて教育課程に取り組んでいるため、高学年では数分で100文字以上の入力をする児童が多いです。

取組についての概要(成果)

6月26日(月) 第5学年複式 算数科「小数のわり算」における実践

第6学年複式 算数科「小数と分数の混じった計算」における実践

「分かったこと」や「新たに学んだこと」などの観点に沿って、30~50文字程度の文章でロイロノートにタイピングして順序よく振り返りました。「まず」「次に」「そして」等の接続詞を意識させ、小数の計算方法を解説する振り返りをする児童もいました。

10月23日(月) 第2学年 算数科「かけ算(1)」における実践

「振り返り」は、毎時間「分かったこと」や「できるようになったこと」の観点で、取り組んできたことで、2分、50文字以内の制限で全員、記述による振り返りができるようになっています。「かけられる数」や「1つ分の数」などについて「難しかった」と書く児童がいたおかげで、教師が児童の学び具合を確認でき、授業後の補充指導が適宜実施できました。